

主任保育士・主幹保育教諭特別講座修了生のためのリカレント研修
第 13 回「保育スーパーバイザー」養成研修会
開催要項

保育活動専門員
認定制度
対象研修会
200ポイント

1. 趣 旨

都市部を中心とした待機児童の増加や、保育の担い手の不足など、保育にかかわる課題が社会的な問題となっています。

また、子育てに不安を抱える家庭の増加だけでなく、子どもの貧困の深刻化や児童虐待の増加など、子どもの健やかな育ちに係る課題も山積しています。

こうした社会情勢をふまえ、平成 28 年度には保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定（改正）の検討が行われるとともに、保育士のキャリアアップにつながる研修体系の構築にかかる検討が、国においてすすめられました。

このように、子ども家庭福祉をとりまく社会状況が大きく変化するなか、保育所・認定こども園等においては、多様化が進む保育ニーズへの対応等を可能とする保育士・保育教諭等の専門性の向上、他関係機関との連携に基づく地域の子育て支援拠点としての役割の拡大などへの対応が、社会から求められています。

加えて、主任保育士・主幹保育教諭等リーダー的職員においては、職員一人ひとりが、組織の一員として業務を着実に遂行しながら、後輩等職員が専門職として成長していくための支援をする役割が求められています。

そうした役割を担う「保育スーパーバイザー」を養成し、組織および保育の質の向上に寄与することを目的に、本研修会を開催します。

本研修会のねらいは、下記のとおりです。

- ① 保育及び子ども家庭福祉をめぐる最新の制度動向について理解を深める
- ② 地域社会における多様な課題に対する、専門的知識に基づいた支援方法について理解を深める
- ③ 保護者支援や地域の子育て支援などに必須であるソーシャルワーク等のスキルを身につける
- ④ 専門職集団におけるスーパーバイザーに求められる知識・技術について考える

2. 期 日 平成 29 年 8 月 23 日（水）～24 日（木）

3. 会 場 全国社会福祉協議会 第 3～5 会議室
東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階
TEL. 03-3581-6503/FAX. 03-3581-6509

4. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国保育士会/全国保育協議会

5. 実施主体 全国保育士会

6. 後 援 厚生労働省（予定）

7. 受講要件 下記のいずれかの要件を満たす方

※本研修会は「主任保育士・主幹保育教諭特別講座（平成 26 年度までは、主任保育士特別講座）」、「教育・保育施設長専門講座（平成 26 年度までは、保育所長専門講座）」のリカレント研修として位置付けられています。

- (1) 主任保育士・主幹保育教諭特別講座（旧：主任保育士特別講座）修了生
- (2) 全国保育協議会「教育・保育施設長専門講座（旧：保育所長専門講座）」修了生
- (3) 全国保育士会委員（平成 27・28 年度委員を含む）
- (4) 全国保育協議会協議員

8. 定 員 80 名

9. 受講料 全国保育士会会員 23,000 円
その他 25,000 円
（昼食代・交通費・宿泊代等は除く）

10. プログラム

日時	日程	内容	講師
8月23日（水）	10：30～	受付	
	11：00 ～11：10	開講式	
	11：10 ～12：10	行政説明 「保育所保育指針の改定等保育をめぐる国の動向」(仮題)	厚生労働省 保育課
	12：10 ～13：00	昼食・休憩	
	13：00 ～13：45	基調報告 「専門職組織として全国保育士会が描く展望と 保育士への期待」(仮題)	全国保育士会 会長
	13：45 ～14：00	休憩	
8月24日（木）	14：00 ～17：30 (途中、休憩あり)	講義と演習Ⅰ 「保育士に求められるソーシャルワークとその活用について」 近年、家庭や地域の養育力が低下しているといわれており、子育て世帯には、子育てに関する情報の提供や相談などの支援が必要とされています。そのため、主任保育士や主幹保育教諭には、保護者支援や地域の子育て支援などにおけるソーシャルワーク機能が期待されています。 本講義では、専門職として保育士に求められる倫理とソーシャルワークの知識・技術を体系的に学び、ソーシャルワークの理論を保育現場で具体的実践につなげる方法について考えます。	頌栄短期大学 副学長・教授 藤井 薫 氏
	9：30 ～15：30 (途中、昼食休憩あり)	講義と演習Ⅱ 「地域を基盤とした総合的な相談支援について」 近年、子ども・子育てをとりまく環境が多様化し、保育士には、子どもの発達や子育てに関する相談だけでなく、保護者自身の家庭や生活に関する課題への対応が求められています。こうした現状に対応するため、保育士には、他の関係機関と連携しながら、専門的知識や技術に基づく相談支援を展開することが必要となります。 本講義では、他の関係機関や福祉の専門職機関との連携を密にした保護者への相談援助等、地域の保育課題に対する相談支援を行えるよう、援助過程において、社会資源（人、物、資金、情報、法制度、諸サービス等）を適切に活用する方法について考えます。	日本社会事業大学 教授 金子 恵美 氏

11. 参加申込方法

- (1) 別紙「参加・昼食・宿泊のご案内」をご参照の上、「参加・昼食・宿泊申込書」に必要事項をご記入いただき、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店あてにFAXにて送信してください。
- (2) 参加申込締切日：平成29年7月27日（木）
*ただし、定員に達し次第、申込受付を終了いたします。
- (3) 参加費の領収証を希望される方は、研修会当日、受付までお申出ください。ご入金を確認の上、領収書をお渡しいたします。
- (4) 申込締切後に参加を取り消された場合、参加費の返金はいたしません。研修会終了後に資料を1部送付いたします。

《個人情報の取扱い》

- ・ 申込書に記載された個人情報は、本研修会の運営・管理の目的にのみ使用します。
- ・ 参加者名簿に、氏名・都道府県名・勤務先名・役職名を掲載します。
- ・ 個人情報の管理については、全国保育士会「個人情報に関する方針等について」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。
(全国保育士会ホームページ：<http://www.z-hoikushikai.com>)
- ・ 本研修会の申込受付等に関する業務を名鉄観光サービス(株)新霞が関支店に委託して実施するため、上記の目的に加え宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。名鉄観光サービスの個人情報の取扱いに関する方針につきましては、ホームページをご確認ください。
(名鉄観光サービスホームページ：<http://www.mwt.co.jp>)

12. 受講認定証の授与

本研修会の全プログラムを受講した方には、全国保育士会会長名の研修会受講証明書を発行いたします。

13. お問い合わせ先

全国保育士会事務局（担当：源河^{げんか}、土谷）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

全国社会福祉協議会 児童福祉部内

TEL. 03-3581-6503 / FAX. 03-3581-6509

E-mail hoikushikai@shakyo.or.jp

【会場地図】



全国社会福祉協議会 第3～5会議室

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5階

地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分

地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

地下鉄千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

「保育活動専門員」認定制度について

全国保育協議会では、保育・子育てに関係するすべての方を対象に、全国保育協議会、全国保育士会、ブロック保育協議会が主催する大会・研修会を一定回数以上受講した方に対して認定証を発行する『保育活動専門員』認定制度を実施しております。

平成19年度に開始した本制度では、これまで1,405名の方が「保育活動専門員」として認定され、全国各地の保育現場で活躍されています。

(詳細は全保協ホームページ <http://www.zenhokyo.gr.jp/> をご覧ください)

本研修会は認定制度の対象研修会です。[取得できるポイント＝200ポイント]

全国保育協議会主催大会・研修会	全国保育士会主催大会・研修会
① 教育・保育施設長専門講座	① 主任保育士・主幹保育教諭特別講座
② 保育所・認定こども園 保健・衛生専門研修会	② 全国保育士研修会
③ 公立保育所等トップセミナー	③ 「保育スーパーバイザー」養成研修会
④ 全国保育研究大会	④ 全国保育士会研究大会
⑤ 保育所・認定こども園 リーダートップセミナー	⑤ 全国保育士会食育推進研修会
⑥ 教育・保育施設長専門講座「リカレント研修会」	⑥ 改定保育所保育指針研修会